

日本科学者会議神奈川支部第 60 回大会決議

5月18日に労働プラザで開催された支部大会は出席23人（委任状11人）をもって会則の3分の1以上をみたしたため成立し、幹事会が提案した議案を全員賛成で採択しました。議決した文書は以下のとおりです。なお、支部費の改定は当面保留とし『日本科学者』の購読料などをふくめて年間10800円に据え置きます。物価上昇が著しいなかですが、納入をお願いします。

報告の部

A 活動報告

1. 社会的活動（他団体との交流、個人参加ほか）

- 1) 横浜ノースドック米軍揚陸艇部隊配備撤回を求める神奈川3区野党共闘を求める市民の会の活動（2023年1月～6月）に参加（JSA神奈川支部通信, 2023年7月号）
- 2) 憲法を考える県民集会：迫る改憲発議－旧統一教会・自民党の間（5月1日、かながわ県民センターホール、講演：有田芳生さん（ジャーナリスト、元参議院議員）「統一教会と自民党－迫る改憲発議の背景」、主催：かながわ憲法フォーラム）に参加（JSA神奈川支部通信, 2022年6月号）
- 3) 2023年5月3日（憲法記念日）に「九条かながわの会」が桜木町駅前広場での宣伝活動に参加（JSA神奈川支部通信, 2023年6月号）
- 4) 5.3県民のつどい（5月3日、神奈川公会堂、講演：石川康宏さん（神戸女学院大学名誉教授）「安保3文書が招くもの－岸田軍拡のたくらみを暴く」、主催：神奈川憲法会議）に参加（JSA神奈川支部通信, 2023年6月号）
- 5) 横浜ノースドック ウォッチングと学習会（5月13日、横浜港大棧橋と桜木町ぴおシティ6階研修室、主催：革新懇横浜連絡会、横浜平和委員会）に参加（JSA神奈川支部通信, 2023年7月号）
- 6) 第13回鶴見平和フェスティバル「フラメンコと講演の集い」（5月27日、フラメンコ：ラス・ピエドラス、講演：孫崎享（元外交官、東アジア共同体研究所所長）「日本の軍事力拡大はアジアに平和をもたらすか－どうする日本の平和外交 私たちの命と暮らしを守るために」、鶴見公会堂ホール）に参加（JSA神奈川支部通信, 2023年7月号）
- 7) 九条科学者の会 2023年6月講演会「安保三文書・実質改憲のうごきのなかですすむ日本本土の基地化」（6月25日、オンライン、講演：山口真美さん（弁護士、三多摩法律事務所）「日本の基地問題と憲法」、高良沙哉さん（沖縄大学教授、憲法学）「琉球弧の軍事要塞化と憲法」）に参加（JSA神奈川支部通信, 2023年8月号）
- 8) 6月9日学校「平和と地球を守るための憲法9条」（6月30日、神奈川公会堂、講演：武本匡弘さん（プロダイバー、環境活動家）「気候危機と平和の危機、気候正義と憲法9条～海から見る地球」、報告：星野潔さん（リムピース編集部）「横浜ノースドック監視行動」）に参加（JSA神奈川支部通信, 2023年8月号）
- 9) 学術フォーラム「欧州とアジアの地域紛争をめぐる平和的解決と世界経済の行方」（7月9日、日本学術会議講堂、オンライン併用、挨拶：梶田隆章会長、山極寿一前会長、基調報告：羽場久美子氏、6つの発表、2人のコメンテーター、全体討論）に参加（JSA神奈川支部通信, 2023年9月号）
- 10) 「横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会結成集会」（7月14日、神商連会館）に参加（JSA神奈川支部通信, 2023年9月号）
- 11) 原水爆禁止 2023年世界大会・科学者集会「核を含む大軍拡の嵐の中、大学・学生・高校生から平和の発信を」（7月29日、オンライン、講演：直野章子さん（京都大学教授）「被爆体験と核兵器廃絶の間」、基調報告：赤井純治さん（新潟大学名誉教授）、6人の報告）、に参加（JSA神奈川支部通信, 2023年9月号）
- 12) ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対県民署名の中間報告&上映会（8月11日、鶴見公会堂ホール）に参加（JSA神奈川支部通信, 2023年10月号）
- 13) プレ企画：九条の会大集会 23/10/5 を成功させるために大軍拡反対憲法改悪を止めよう（9月1日、文京区民センター、講演：高田健さん「改憲の動きの現状と私たちの課題」、小沢隆一さん「緊急

- 事態条項改憲論の問題点」、主催：九条の会事務局)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023 年 10 月号)
- 14) 2023. 10. 5 九条の会大集会「大軍拡反対！憲法改悪を止めよう」(10 月 5 日、中野ゼロホール、講演：田中優子さん「正しい戦争はどこにもない」、中野晃一さん「改憲・軍拡でなく『安心供与』を」ほか)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023 年 11 月号)
- 15) 声明「世界最大級の変動帯の日本に、地層処分の適地はない」地球科学者 302 名の発表(10 月 30 日、衆議院議員会館第 6 会議室)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023 年 12 月号)
- 16) 小出裕章さん講演会「原発と憲法 9 条ー原発回帰は憲法改悪への道」(10 月 14 日、あーすぷらざ・プラザホール、主催：根岸線沿線九条の会)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023 年 12 月号)
- 17) 第 4 回山中市政を進める市民のつどい(10 月 21 日、横浜市従会館、講演：岡田知弘さん(京都大学名誉教授)「岸田大軍拡と地方自治の未来」、主催：市民の市長をつくる会)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2024 年 1 月号)
- 18) ノースドック米軍部隊配備反対県民署名 6 万筆を山中市長に提出(10 月 24 日、12 月 20 日、呼びかけ：県民署名実行委員会)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2024 年 2 月号)
- 19) 県民集会「横浜港の米軍基地ーノースドックに今、何が起きているのか」(11 月 1 日、かながわ県民センター、基調報告：星野潔さん、パネルディスカッション：司会 佐藤治さん、パネラー 星野さん、山根徹也さん、沢田政司さん、新倉裕史さん、主催：かながわ憲法フォーラム)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023 年 12 月号)
- 20) 秋の学習会「大軍拡と岸田内閣の行方」(11 月 9 日、神商連会館、講演：仁比聡平さん(参議院議員)、報告：後藤仁敏「ノースドック米軍部隊配備反対県民署名の報告」、主催：神奈川憲法会議)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2024 年 1 月号)
- 21) 九条科学者の会 18 周年のつどい「岸田政権の政治と憲法」(11 月 19 日、文京シビックセンター5 階区民会議室とオンライン併用、講師：高佐智美さん(青山学院大学)「外国人の権利について考える」、田中隆さん(弁護士)「憲法審査会と明文改憲の策動」)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2024 年 1 月号)
- 22) 11. 3 沖縄に連帯する神奈川のつどい(11 月 23 日、講演：千坂純さん「岸田大軍拡と沖縄」、井上久土さん「つくられた台湾有事と日中関係」、主催：神奈川県平和委員会、日中友好協会神奈川県連合会、神奈川革新懇)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2024 年 1 月号)
- 23) 安保法制違憲かながわ訴訟東京高等裁判所第 4・5 回期日(12 月 13・15 日、東京高裁 101 号法廷、石川健治さん(東京大学教授)らの証人尋問)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2024 年 2 月号)
- 24) 横浜ノースドックの全面返還を求める集会(12 月 17 日、神商連会館、挨拶：後藤仁敏、講演：星野潔さん、報告：山根徹也、行動提起：飛田久男主催：米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023 年 2 月号)
- 25) 横浜ノースドック米軍揚陸艇部隊運用開始への抗議行動に参加(2024 年 2 月 8 日、ノースドックゲート前、呼びかけ：米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会ほか)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2024 年 3 月号)
- 26) 「建国記念の日」に反対する 2. 11 神奈川県民のつどい(2 月 11 日、かながわ県民センターホール、基調報告：後藤仁敏、講演：羽場久美子さん(青山学院大学名誉教授)「すべての戦争の即時停戦を！国益でなく、市民・子どもの命を守ろう！私たちはどうすべきか？主役は市民」)に参加、JSA 神奈川支部も参加する実行委員会主催(JSA 神奈川支部通信, 2024 年 3 月号)
- 27) 学習会「基地と住民自治」(3 月 10 日、桜木町びおシティ 6 階ミーティングルーム、主催：野党共闘を求める神奈川 4 区市民の会)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2024 年 4 月号)
- 28) 九条かながわの会泊まり込み交流会(3 月 17・18 日、横須賀市の軍港・核燃料工場・石炭火力発電所の見学、学習・交流会、マホロバ・マインズ三浦会議室)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2024 年 5 月号)

2. 研究活動

- 1) 支部研究交流会を 2024 年 2 月 24 日に横浜市技能文化会館で開催、講演：中島常安会員(名寄市立

大学名誉教授)「保育の科学と保育者の役割」に続き、惣田昱夫会員(静岡理工科大学元教授)「有機フッ素化合物(PFAS)汚染と日本の環境汚染(公害)問題と歴史」、後藤仁敏会員(鶴見学名誉教授)「『サメの歯化石のしらべ方』出版の意義について」、益田総子会員(医師、ますだクリニック院長)「日本はなぜ女性研究者が少ないのか」、浜田盛久会員(海洋開発研究機構研究員)「能登半島地震を引き起こした流体とは何か」、北山宏之会員(神奈川民間懇)「物理学と数学のつきあい方」の5つの話題提供があり、活発な討論をおこなった(JSA 神奈川支部通信, 2023年4月号、「日本の科学者」にも投稿中)

3. 組織活動

- 1) JSA 神奈川支部第59回定期大会(5月20日、かながわ労働プラザ) 出席者と委任状3分の1以上で成立。記念講演:山崎圭一会員(横浜国立大学教授)「中南米における第二次ピンクタイドと自主的外交の展開」 活動報告、活動方針、会計報告を了承、役員選出を行なった(JSA 神奈川支部通信, 2023年8月号、日本の科学者, 2023年10月号)
- 3) 日本科学者会議第53回定期大会(5月27日・6月11日、オンライン開催)に、代議員として飯岡が参加(JSA 神奈川支部通信, 2023年9月号)。
- 4) 日本科学者会議59期第2回幹事会(7月17日、オンライン開催)の報告(JSA 神奈川支部通信, 2023年9月号)
- 5) JSA59期第1回関東甲信越地区会議(8月21日)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023年10月号)、
- 6) 日本科学者会議59期第4回幹事会(2024年3月24日、オンライン開催)の報告(JSA 神奈川支部通信, 2024年5月号)

議案の部

B 活動方針

安倍首相による経済政策は大企業とその株主に多大な利益をもたらし、一方、日本の経済成長無き30年は国民の可処分所得を減少させ、円安とあいまって生活苦をもたらしている。さらに、米国の要求に屈して、安保三文書、軍事費2倍、武器輸出などそれまでの自民党政権が原則としてきた平和原則をなげすて、憲法を蹂躪している。さらに、沖縄辺野古移設問題、宮古島など島々への基地建設を強行してきた。軍事費、社会保険料の増大など増税によって、国民総経済の状況は悪化しつつある。

岸田首相の訪米はウクライナ、ガサへの侵略に対して対米従属的な態度を明らかにした。中国の覇権主義的な外交にたいして、外交をもって平和をたもつのではなく、米軍の指揮下に自衛隊をおき一体となって戦争の準備をすることは、アジアにおける日本の孤立への道であるといえよう。日本は東南アジアなどの非核・非同盟の流れに参加するとともに、軍事費の拡大を阻止して市民本位の経済に転換することが求められている。それこそが、現在おきている紛争にたいして日本の立場を発揮できる道である。

菅首相がおこなった学術会議会員の任命拒否は岸田首相になっても継続するなど、学問の自由、軍事研究の拒否の精神にたいする干渉は、卓越大学構想をおもな国立大学に適用する法制度として拡大させ、大学における自治をないがしろにして、政府や財界などの意向にそった研究をさせようとしている。また、任期制や非常勤身分の不安定雇用の研究者をおもにした体制は基礎的・長期的な研究よりも、短期的な成果を求めるようになり、学問の衰退をもたらしている。神奈川では、あらたにノースドックに米軍の最前線に配備される揚陸艦部隊がおかれた。また、県内の大学では東海大学の労働組合が雇い止めの撤回をもとめてストライキを実施するなど、これらに対するたたかいが広がっている。日本科学者会議の「科学の自主的・民主的発展、科学者の権利を守る」などの目的は重要な局面にいたっている。神奈川は沖縄とともに米軍の横須賀港など米軍の最前線におかれ、また、大学などの研究機関も数多く、また、気候危機では京浜地区では横須賀火力が計画され世界の潮流に逆行するなど科学者会議に期待される役割は大きいといえる。

自民党の裏金問題は統一教会との関係とともに、この政党の金権腐敗体質を明らかにした。国民の多くが自公政権にかわる野党政権を望むようになってきている。先に行われた衆議院での補欠選挙では立憲党(共産党支援)の3候補者がすべて勝利した。さらに、維新の凋落も顕著であった。自公政権の行って

きた政治と国民の利益との矛盾はだれの目にも見えるようになってきている。また、アンケートでは「憲法改正にすべきでない」と6割に達している。

山中市政はカジノ反対の広範な市民の支持を受けて発足した。その後、中学校の給食、医療無料かなど市民要求にこたえた施策が実現したことは評価すべきところである。しかし、気候変動では岸田政権がすすめるGX法の具体化、国際園芸博覧会への住民負担、記者会見への質問をうけないなど、さまざま問題がある。山中市政の民主的な姿勢を維持するためにも、科学的で適切な批判は大切なことである。

神奈川支部は、会員、読者の現勢を維持している全国でも少ない支部であったが、会員の高齢化にもなって健康上の理由などによる退会のため、今年は※人の減少し※となっている。会員を増やすことは科学者会議の目的、横浜におけるカジノ後に民主的な自治を推進するたまにも不可欠といえる。また、さまざまな専門分野をいかして市民のなかに出て行き、科学を普及するという活動はそのためにも必要となっている、このままでは組織的だけではなく、財政的にも活動の継続は困難になることから、攻勢の年にしたい。

1. 社会的活動

- 1) ノースドックの揚陸艦の配備に反対するなど、平和と民主主義の行動に参加する。
- 2) 学術会議会員候補 6名の任命拒否を撤回させる運動に参加する。
- 3) 山中市政の市民本位の政策の実現に努力するとともに、問題点には科学的に対応する。
- 4) 憲法 9 条を守る運動に参加し、憲法 9 条科学者フォーラムを計画する。
- 5) 大学、研究機関における軍事研究に反対し、労働条件の向上、雇止めを辞めさせる。
- 6) コロナ後遺症など神奈川の医療体制の強化、行政への働きかけをおこなう。
- 7) 神奈川の黒岩知事の再選をゆるさず民主県政の実現に協力する

2. 研究活動

- 1) 諸会議にインターネットを活用して参加しやすいものとする。また、参加の困難な会員の意見交換の機会をもうける。
- 2) 支部研究交流会を開催し一般の参加をえるように充実させる。従来の初春の研究家にくわえて、秋に市民を対象にした『研究発表会』の開催を考える。
- 3) 科学者会議の多様な専門性をいかして、市民団体の学習会など要求に応える講師の派遣などを行う。

3. 組織活動

- 1) 支部通信を毎月発行する。さまざま会員の投稿をえることで、紙面の充実、会員の交流を図る。
- 2) いろいろな機会に JSA 加入を訴え、意欲的に会員拡大に取り組む。現在、読者を含めて 50 名弱（読者ふくむ）から 50 名をこえることをめざす。
- 3) 支部幹事会の体制を強化して、役員の平均年齢を 60 代前半にすること、多様な人材が参加することで、活性化をする。
- 4) 支部のホームページの一層の充実につとめる。会員の関心にあった、定期的な更新をする。全国事務局などから新規入会されていることから、ホームページからの入会をえる。
- 5) 研究会のオンライン併用など現地に参加できない会員にむけての、さまざまな工夫をする。
- 6) 全国幹事会に参加し、全国事務局の活動を支える。また、神奈川の地域にある支部として、地方自治、大学問題、基地問題などの課題に取り組む。

C 支部費改定案（延期）

第 59 回大会では支部費改定を提案しましたが、この第 60 回大会まで一年間の継続討議とすることになりました。提案した文書は以下のとおりです。『支部会費は 2,400 円で、2008 年から 15 年間据え置いてきました。支部ではこの会費を維持するため、毎月の雑誌の発送実務を幹事会の前に行うなど、経費の削減に努力してきました。しかし、2022 年度は、活動が正常化する中で、全国的な会議も再開され、また、支部が事務局をおく「かながわ総研」の移転に関わる支出もあって、赤字になりました。…支部会費の改定は 2,400 円（月 200 円）から 4,800 円（月 400 円）』する。

その後、討議では改定はやむを得ないという意見が多数ですが、反対の意見もみられました。また、物価上昇による個人生活への負担や、今年度の開催される全国大会、第 25 回総合学術研究集会（11 月 23 日から 12 月 8 日）はいずれもオンラインで行われ（前回の総学は大阪大学と併用）、予算として要しないことなど明らかになっています。したがって、改定は延期をすることとしました。しかし、15 年以上の据え置いている支部会費ですから、しかるべき時期に改定を提案することになると思います。

D 会計

第 60 期予算案（第 58 期決算含む） 別紙

第 59 回大会では会員を増やすこと積極予算としましたが、結果として退会、死去、転出などによって減少し、50 人を切ることになりました。また、会費督促がおくれ納入は第 60 回大会の収入となるため、結果、決算は予算に対して大幅な赤字となりました。なお、60 回大会の予算案は、総学への補助などをおもに、支出を削減した緊縮案としました。

E 役員（新任（新）以外はすべて留任）

支部幹事：飯岡ひろし、後藤仁敏、鈴木秀顕、惣田昱夫、中野広、萩原伸次郎、濱田盛久、益田総子、横尾恒隆、中島常安（新） 会計 監査：北山宏之 支部事務局長：飯岡ひろし（会計兼務）

支部代表幹事：萩原伸次郎 支部推薦全国幹事：後藤 仁敏 JSA54 回大会代議員：飯岡ひろし

F その他

・県政民主化の取組 別紙

日本科学者会議神奈川支部として「平和で明るい神奈川県政をつくる会」に加盟することを確認しました。

・JSA 研究助成

研究テーマ「宮ヶ瀬ダムの建設と神奈川の水問題—全国的な状況もふまえて—」（研究代表者：飯岡ひろし）が JSA の研究助成をうけることになりました。

一般会計							
	決算(第58期 2023年5月~2024年4月)			2022(参考)	備考	予算(第60期 2024年5月~2025年4月)	
	予算	決算	差額	決算		予算	備考
収入							
前期繰越金	110,000	110,000	0	150,000		213,670	内 一般会計繰越金 △56,678
会費・雑誌代	648,000	437,600	△ 210,400	464,880	未納者10人程度	504,000	10,800×50人 900円/月
(支部会費)	(144,000)	(96,000)		(96,000)			(120,000)
補助金	30,000	24,000	△ 6,000	34,600	本部事務局から	24,000	
雑収入	2,000	2,540	540	859	懇親会残金など	2,000	
計	790,000	574,140	△ 215,860	650,339		743,670	
支出							
会費(誌代)	504,000	361,570	142,430	384,151		370,000	
支部活動費	40,000	31,600	8,400	57,444		30,000	△10,000 現地・オンライン
会誌等郵送料	50,000	44,150	5,850	60,463		45,000	△5,000
HP維持費	40,000	46,200	6,200	-		45,000	5,000 維持管理委託など
集会参加補助	30,000	15,000	15,000	43,500	学術総会交通費など	20,000	△10,000
幹事交通費補助	37,000	37,600	△ 600	37,920		37,000	
総研会費	36,000	36,000	0	36,000	かながわ総研会費	36,000	
事務用品	40,000	51,142	△ 11,142	46,815	PC備品など	30,000	△10,000
振替手数料	6,000	5,556	444	6,734		6,000	
予備費	5,000	0	5,000	-		1,000	△4,000
計	788,000	628,818	159,182	673,027		620,000	
次年度繰越金	2,000	△ 54,678	56,678	△ 22,688		123,670	
合計	790,000	574,140	215,860	650,339		743,670	

※1,000円/1H(一日5,000円打切) 幹事会の申し合わせ

特別会計(特別事業等積立金)	
収入	
前期繰越金	300,000 ※
一般会計から繰入	0
その他	0
支出	
一般会計へ繰り出し	0
その他	0
残額	300,000 ※

正味財産(現金・預金)		
帳簿		
特別会計	300,000	
前期繰越金	213,670	
計	513,670	
内訳		
振替口座	442,599	ゆうちょ銀行
普通口座	61,133	ゆうちょ銀行
その他	0	
現金	9,938	
計	513,670	

※ 前年度 566,428

※ 正味財産 513,218 - 300,000 = 一般会計へ 213,218

会計監査報告

赤字となった原因として、会費雑誌代の未納と会員減少であることを理解しました。

これを受けて今後の対応について総会の場で活発に議論されることを期待します。

第58期における支部会計に関して、出納記録及び証拠書類を精査し、現金・貯金残高と照合しましたところ、すべて適正に処理されていることを認めました。

以上署名の上報告いたします。

2024年5月16日 会計監査 北山 宏之 印